

第5回鳥取市政懇話会「広域交流観光」部会議事概要

日 時：平成22年8月31日（火）15：00～16：00

場 所：鳥取市役所本庁舎6階全員協議会室

出席者

【委員】池澤幸雄委員、岡垣幸得委員、太田義教委員、川口博子委員
神部みゆき委員、佐々木ターミー委員、寺本光孝部会長、山本徹委員
吉田茅穂子副部会長

【鳥取市】観光コンベンション推進課 有本観光企画係長

【事務局】企画調整課 鹿田課長補佐、田中

開 会

部会長・副部会長あいさつ

- ・この会では、これまでジオパークや滞在型観光について意見交換を行ってきた。本日はこれまでのご意見を総括する意味で、より多くの観光客に来ていただくための方法、どのような形で来ていただければよいのかについてご意見をいただきたい。
- ・市長のマニフェストの中に、平成25年度には観光客を320万人以上にするという項目がある。皆様のご意見をいただき、よりよい形で提言していきたいと思う。
- ・本日は1時間程度と時間が限られているので、皆様からご意見をいただけるよう時間を区切り、前回の宿題については最後に鳥取市よりご説明いただきたい。
- ・先程部会長のお話にあったように、時間が短い中、貴重なご意見を皆様から平等にいただくため、時間をはからせていただく。約3分間、要約し、簡潔明瞭にお願いしたい。

意見交換

○委員

- ・観光の意見は出尽くしてきているように思うが、要は商品をどう作るか。1日コースなのか、年齢、団体、家族連れ等、どのように商品をたくさん作って提供するか。
- ・問題は、できるだけ滞在型メニューをたくさん商品として作っていくこと。これから勝負である。名所、旧跡、温泉もたくさんあるが、そういうことが一番だろうと思う。

○委員

- ・一人ずつ意見を言っていくのは、今までの繰り返しになるのではないかと思う。
- ・今境港が非常に熱く燃えており、200万人越えたと宣伝しているが、朝の連続ドラマの影響もあり特別だろうと思う。継続的に観光客を呼び込むということになると、やはり鳥取は砂丘が一番目玉になると思う。
- ・前回もお話したように、今砂像の展示を継続して行っている。砂を使ったイベント等、何か目玉を持ってきて、市とまちが連携した流れを持った観光客滞在型の案を考えていくことを提案したい。

- ・目玉を作り、その流れを滞在型に持っていくようなルートを考えていけばよいと思う。

○委員

- ・一番考えるのは交通の便について。時間のある年配の方はスローでもよいと思うが、若い人は滞在というよりタイムイズマネー。ぱっと遊べて、ぱっと帰れるもので、仕事にも余裕ができるというかたちだと思う。一番は、飛行機で来てほしいと思う。
- ・鳥取市内のツーリストはもっと勉強すべき。沖縄のツーリストはものすごく勉強していて、いろいろな提案をしてくれるが、鳥取は選べない。非常にシンプル。まだまだ勉強が足りない。
- ・飛行機の運賃が高すぎる。ホテルとパックにしたものをもっと作ってほしい。ツーリスト側は航空会社とタイアップの交渉を。
- ・地元のよいところはたくさんあるので、組み合わせていくことは重要。

○委員

- ・一年間欠席をしていた。皆様のご意見は読ませていただき、特によい言葉だと感じたのは、「旅人の心には未知の部分に対する探求心が常にある」、「鳥取の人の目線ではなく、旅行する人の目線で考える」というもの。
- ・私は鳥取出身者ではないので、昔はカルチャーショックがあった。今は鳥取に住んでおりそういうものはなくなったが、もう一度旅行者の身になって考え、鳥取のよいところを掘り起こす、ということを考えながら過ごしていた。

○委員

- ・これまでいろいろ話をしたのでもう話すこともないが、むしろこれらの意見を受け止め、市がどのように考えているのかを知りたいと思うが、委員のパックというご意見はともよいと感じた。
- ・この夏、娘が横浜からやってきたので、砂の美術館と浦富の遊覧船に連れて行った。神戸や大阪には共通割引券があったりするが、そういうものが全くない。そのようなことも含めて考えていくことにより誘導でき、滞在する。共通割引券があるのだったら行ってみよう、という誘導になる。
- ・砂の美術館は500円、小型の遊覧船は2100円もする。共通割引券があれば誘導できるのでよいのでは。パックもよいと思う。

○委員

- ・本日いただいたナインエリアマップや、昨年いただいた因幡の祭典のパフレット等、非常にきれいにまとまっているが、これらをどう展開していくのかという議論のほうが大切では。
- ・一点だけ、ジオパークがらみの話になり恐縮だが、ジオパークロードの話である。110キロの点々とした状況ではおそらく説得力がないのではないか。
- ・山陰の観光ルートに通ずる道筋であり、公募の形態をとって、一本のラインとして〇〇ロードという名称を県民・府民を挙げて募集されるようなイベント方式の取組みを提案させていただいた経緯があるので、どう具現化されるのか、大変恐縮だが疑問を投

げかける。

○委員

- ・鳥取にお客さんは来られるのだが、宿泊をしていただかず素通りとなるのでお金が落ちないという状況が続いている。
- ・観光担当課は旅行会社ともっと密接に計画をたてる。例えば11月にはカニずくしなど、ツアーを募集したほうが人は集まる。その中に市内観光をたくさん盛り込み、必ず1泊以上というツアーの組み方ををしていただければお金が落ちると思う。
- ・ホテルや旅館が不景気だということ踏まえて我々も努力しなければいけないが、観光課とツーリストでより深く行程表を作っていただくことにより、見て帰るのではなく市内観光をしてもらえるようになる。
- ・鳥取には季節折々に行くところがたくさんあるので、季節に合わせたツアーの組み方をしてほしい。
- ・砂像は、昨年のフェスティバルのような大きなイベントが続くとよいと思う。札幌の雪まつりのように継続できれば鳥取の知名度も高くなる。

部会長

- ・再三にわたって皆様にご意見をいただいた。次回が最終回であることから、どのようにまとめていくかというところがあり、今回のテーマを設定させていただいた。
- ・確かに観光ルートのこともある。一つ思ったのが、年間パスポートが使えるようにしてはどうだろうかということ。砂像を常設展示する美術館を砂丘に建設するという記事を新聞で読んだ。どうにか先にお金が入るような方法、年間パスポートを作ってしまうえば、先程の観光ルートにも利用できるのではないか。
- ・島根のフォーゲルパークはすでに発行しているらしい。鳥取でどこが使えるかまだ調べきれていないが、そういうものがあれば来てもらうきっかけになるのではないか。

○副部会長

- ・皆様のご意見と重複するところもある。今日はとにかくテーマを絞ろうということで、滞在型で一人でも多くのお客様に来ていただき、来てよかったという感想を持って帰っていただくためにどうすればよいか、このテーマに設定した。
- ・やはり道路事情がよくなり、近隣の県と非常に近くなった。さらに色々な意味で交流を深めること。
- ・先日三都市（姫路・岡山・鳥取）の交流があった。このような交流を開いて、協力しあっていくこと。
- ・もし宝くじが当たったら、どの県に行ってみたいか、まず真っ先に何を考えるかという逆の発想をしてみる。そうすると、県外の方にとって鳥取の何が魅力か。県外からの視点で鳥取を見てもみることも必要ではないか。
- ・やはりそれには新鮮な食、風景の美しさ、人々の温かい気持ち。先回もお話したが、来られた方々に対して、一人ひとりがようこそいらっしゃいましたという気持ちを持たないと、もう行きたくないと思われてしまうのではないか。
- ・鳥取は発信が下手なので、しっかりと行うこと。連続ドラマの前から境港は非常に賑わ

っていた。砂丘を見に来てくださいというだけではなく、色々な鳥取のよいところをマスコミ等でPRしていただくこと。

- ・県外に出かけたら鳥取のよさを宣伝して帰ることも大切だと思う。

○委員

- ・沖縄出身で、鳥取に来た時はカルチャーショックを受けたが、今現在鳥取に住んでいるのは鳥取がよいところだから。それを沖縄の人に伝えて、たくさんの人を呼んでいるが、交通の便が大変悪いし、お金がかかりすぎる。
- ・先日沖縄に帰った。ここからスーパーはくとで三ノ宮まで行き、神戸空港から沖縄直行便に乗る。年配の方でも、三ノ宮でスーパーはくとからポートルライナーへの乗り換えは10分程度ででき、無駄にばたばた動かなくてもよい。ところがスーパーはくとへの往復割引は4日間しか効かない。これまでも言い続けているが変わらない。これはマイナスである。
- ・神戸から沖縄に向かう際、昼の便に乗るためには朝早いスーパーはくとに乗らないと間に合わない。また、沖縄からこちらに帰ってくる時、神戸空港からポートルライナーで三ノ宮まで行くが、次のスーパーはくとまで1、2時間待たないといけない。乗り継ぎがめちゃくちゃ。時間のロスが多すぎる。
- ・変更が効かないが、前もってチケットをとって東京経由で沖縄に行くほうが早くて安い。
- ・沖縄からたくさんの人を呼びたいが、鳥取にどんなに美味しいものがあったとしても、交通の便が徹底されていないと、あんな田舎には行きたくないと言われる。
- ・日帰りでもなんでもよいと思う。パックを作って安く来られるようにすること。朝一で来て、おいしい食事、温泉を体験し、良い空気を吸ってそのまま夜帰るのもリッチだと思う。お金が落ちる。
- ・徹底して、飛行機やスーパーはくと等に対して皆が意見を言うべき。スーパーはくとは完全に黒字なのだから、交渉すべき。
- ・日本の流行を追うべき。例えば歴女をどう呼び込むか。鳥取にあまり有名な人がいないのが困った問題だが、スターを作り上げれば女性は来ると思う。
- ・人が来るのをじっと待ち構えているだけではだめ。
- ・スーパーはくとを使い、姫路で乗り換えて東京に行くのに6時間はかかる。飛行機のほうが早くてよいに決まっている。比較を県民がしっかりと知るべき。もっとがんばって声をあげていかなければいけないことが分かる。

○委員

- ・とにかく商品化についての考え方が甘い。いかに大切か。
- ・全日空がいくら5便飛んだって、こんなに高い料金ではだめ。
- ・韓国に行くにも、岡山空港からのほうが安い。

○委員

- ・鳥取の航空運賃の高さは日本で1、2位である。
- ・無駄なところにお金を使わないように。

○副部長

- ・旅行会社だけでは無理。県、市一緒にやらないと。

○委員

- ・県は、飛行機に関して陳情していると言われるが、それだけではだめ。県民が声をあげないと。
- ・鳥取は雪が降る。沖縄の人を雪の時期に呼ぶと、また来たいと言われる。南国の人に雪をテーマにしておいしい食事を提供すればいくらでもツアーは組める。あとは交渉術だけになると思う。

○委員

- ・湯布院から博多までの特急に、フランス料理の食堂をつけたものがある。そういうものを作ってもよいと思う。
- ・先日北海道に行き、利尻・礼文を歩いた。4時間コース、6時間コースなどで山を歩くのだが、それだけの商品を作っているわけである。
- ・あそこがよい、ここがよいというよりも、商品化計画をしっかりとリストと組んだりしてやっていく努力が必要。

○委員

- ・単純に、「海の幸フルコース・温泉付き」は皆行きたいと言われる。あとは交通の問題だけ。

○委員

- ・市政懇話会には毎回観光の部会があり、どれだけこれまで話をしてきたか。それが今このような冊子になってはいるのだが。
- ・今日初めて、少し前に進んだかなという意見があちらこちらから聞けたと思う。結局、どのようなよいところがあるからどうしたいということではなく、これまでの意見があったうえで、観光業者などに県や市が働きかけてパックにするとかツアーの日程を組むとかそういうところをどのように動かしていくかということまで持っていければよいと思う。
- ・委員は常に色々な所を走りまわっておられるから、非常によい意見がでるなど感じている。そのようなところまで、これまで意見が出なかった。
- ・どのような形で旅行者、観光業者に働きかけるか。パックにしてほしい等、働きかけなければなにも動かない。そのためにはどこが動けばいいか。市政懇話会に何ができるか。

○委員

- ・以前も申し上げたが、旅行会社に話を聞くと、鳥取の地図がほとんどないとのこと。今回立派な地図ができていますので、観光案内所等に積極的に設置をお願いすべき。
- ・行政と旅行会社との積極的なコミュニケーションがとれていない。ややもすればすぐ県外を紹介したりしている。

- ・イベントに終わらず、名所、旧跡案内をセットしていくことにより泊っていただく。
- ・この不況だから、我々もホテルや旅館の力になっていかないと皆が潤わない。鳥取市としてももっと力を発揮していただきたい。

○副部長

- ・委員はいろいろな所に転勤されていると思うが、鳥取はどのようなところに問題があると思われるか。

○委員

- ・例えば、JTBを利用してツアーに参加した人にパンフレットが渡され、その中に割引特典、無料特典が受けられるというものがある。中四国版に四国は結構お店が載っているが、鳥取県は西部ばかり。東部から参加する店がない。
- ・水木しげるロードはできた当初はほとんど人が来なかった。今賑わっているのは、様々な要因があると思うが、無料というところが大きいのでは。駐車場も無料で、大勢の人が訪れる場合は臨時駐車場を市が作って、入れないということがない。お土産や飲食の料金だけで済み、見てまわることができる。そのようなところが東部と西部で全然違うと思う。
- ・宿泊地でいくと、鳥取温泉に泊まるといっても旅館がない。三朝や湯村にはコンパクトな民宿のような旅館から豪華な旅館まで、バリエーションがある。そういう意味では鳥取市は県内のなかでも厳しい面があるのではないか。

○委員

- ・鳥取には温泉がたくさんあり湯の量も豊富なのに、どこでも自由に入れるという施策が全くない。湯の活用ができていない。三朝温泉は一生懸命で、温泉組合がタンクを走らせて、鳥取の老人ホーム等に売っている。
- ・今後観光の一つの目玉になるのは街道だと思う。道の駅など、国交省が中心になり、街道ぐるみのルートを全国的に進めている。今度、鹿野で確か因幡街道のフォーラムをすると聞いている。
- ・合併したわけだから、もっと温泉をてこ入れすべき。
- ・市議会議員の中にも温泉屋さんがたくさんおられるのに、このような発想がでてこない。

○委員

- ・ホットピア鹿野に入ったことがある方が少ないのがもったいない。岩風呂、サウナなどひととおりに楽しめるように作られている。ただ一つの湯に入るだけではなく、いろいろな効能の湯をめぐるという楽しみもある。つなげばもっとおもしろくなると思う。

○委員

- ・鳥取市内にもモナークやこぜにやがあるが、そういうところが盛り上がっていない。県外から転勤してこられた方は、お風呂屋さんが珍しくてわざわざ行くと聞くが、もう少しムードを作らないと、鳥取に温泉はないと思われてしまう。

○副部長

- ・ぽつぽつと温泉があるが、つながりがない。入るだけで、そこで休憩したりできない。

○委員

- ・城崎温泉は宿泊すればすべて無料券がもらえるし、石鹸やシャンプーも備えられている。

○委員

- ・城崎温泉は、ほとんどの旅館のお風呂はちゃちなものだが、外にある温泉をはしごできることが城崎の良さである。

○委員

- ・鳥取の出身でない方がたくさんおられる。自分自身も主人も県外の人間で、鳥取はなんて商売の下手なところだと感じた。
- ・大型店が入ってきたりして変わってはきているが、サービスを付けるとか呼び込むといった発想が東部の人にはないと実感している。
- ・先程のお話にもあったが、観光業者や温泉業者の方の意識を高めないといけない。私たちが色々と言ったって、本当にそこに伝わるかどうかわからない。行政がバックアップしてそういうところに色々な形で助成されて、観光業者の人たちがもっと様々なサービスを考え、盛り込み、呼び込む工夫をもっとされないと、私たちだけで言ったところで動かないことだと思う。

○委員

- ・それぞれ表現は違うが、連携プレー、つながりをどう広げていくかという言葉が共通テーマとして随所に出てきている。
- ・ジオパーク論に戻って恐縮だが、8月初めに現地審査があり、委員の方が改善の余地がある点として「ジオパーク全体のさらなる一体化」ということを挙げられている。要するにばらばらだということ。
- ・当初から言い続けている、点をなんとか線にできないかということ。つなぐことによって多様性が具現化されていく。
- ・ロード名称化にこだわるのは、何か共通のテーマ一つでよいからという思い。
- ・この度審査員の指摘の中に、このような指摘があるということは、ある意味においては先程来からのつながりという話につながっていくのではないかと思う。
- ・きれいなパンフレットがどんどんできて、読んだ限りにおいてはすばらしいというイメージが残るが、それを具現化するような案内がどこにあるのか、どこにそのような提案があるのかということになれば、大変な議論が必要ではないか。結果的にはやはり先程来から皆さんがおっしゃっている「つなぐ」ということの裏付けになっていくのではないか。

○委員

- ・やはり行政がいかにか動くかということ。いくら机上で議論していても、それがいかされ

なければ意味がない。

○副部長

- ・そういうことで、この市政懇話会が発足した。市民の声を聴き、吸い上げて実現できるものからひとつひとつかなりつぶさに検討してくださっていると思う。私たちが話をしてきたことは決して無駄ではない。
- ・残り時間も少ないので、まとめとして、行政と観光会社、市民とがつながって盛り上げていくためにはどうすればよいかということで、個々に具体的な話としてパックや無料券等の意見が出た。これらの点は行政にもしっかりきいていただきたい。

◇有本観光企画係長

- ・初めてこの席に座らせていただいたが、色々なことを突き付けられたと感じている。
- ・昨年12月にこの部署に配属されるまでは、それなりに色々な観光地に出かけている経験上、皆様と同じように感じていた。
- ・しかし、実際に観光課の中に入り仕事をしていく中で、そうは言ってもそれなりに行政としてはやっていると感じている。
- ・非常に観光の業界は複雑であり、一つの観点としては、観光は誰が主体的に行うものかと考えた時、今の社会情勢でいうと、行政が前に出過ぎるのではなく、あくまで民間の業者に対する側面的な支援を行うものだと考えている。
- ・旅行商品、ツアーの造成については、色々な点を線をつないでこのようなルートで観光されたらどうだろう、と季節ごとに作って県外エージェントに出向いて売り込みを行っている。そのための人材も、観光協会の中に緊急雇用の施策を使って6、7人おり、分担して売り込みをしているが、我々の話を聞いて旅行会社が「鳥取の観光商品を作りましょう」ということになるかどうかはその会社の中の話になる、というのが正直なところ。
- ・こちらが売り込みをかけても、様々な理由から商品にならずにパーになっているケースも多いことを、実態として皆様にご承知いただきたい。
- ・魅力ある商品を作りこんで売っていくという作業は、今後特に重要となると考えている。
- ・これまで市内の旅行業者に対する目に見える支援メニューが全くなかったが、このたび初めて補助制度を創設した。
- ・先程名前の出たこぜにやさんや丸茂さんが早速色々なことに手をつけようとされている。今後これが軌道にのれば色々な業者さんに様々な取組みを展開していただけるのではないかと期待している。どんどん予算化して前に進んでいきたい。
- ・まったく行政として何もやっていないということではなく、それなりにしっかり取組みを進めている。今日いただいたご意見はしっかり受け止めさせていただく。
- ・旅行業者にその気になっていただかないと、いくら行政がお金をつけ、これをやってくださいといったところで無駄になってしまう。アメとムチではないが、そういったものを突き付けながら、全体として、因幡というくくりで祭典の取組みをさらに充実させていくという観点で、連携しながらしっかりやっていきたい。
- ・お配りしている取組み状況表を見ていただくと、ほとんど○や△がついている。基本的には観光に関する施策については積極的に取組むという意味表示をさせていただいて

いると思う。足りない部分等あれば、ご意見をいただきたい。

○委員

- ・会の当初から毎回このようにしてほしかった。キャッチボールしないでやること自体が、市政懇話会の運営を市がどう考えているのか疑われてしまう。

○委員

- ・分かりやすい○△×で回答していただいているが、○となっても、検討します、取組みますという意味合いでの○であって、今年度どの段階まで行きますというところが目に見えれば、私たちもやる意欲が増す。

○委員

- ・個人であればコスト高になるが、バスツアーだとコスト減になる。要請をしていただきたい。

◇有本係長

- ・基本的には関西圏はバスツアーを組んでいただくよう、バス会社を中心に営業をかけているが、なかなか色良い返事がもらえない。
- ・業者を鳥取にお呼びして、案内をするということも計画的にやってはいるが、なかなか商品化していただけない。

○委員

- ・団体ツアーを組んでも、割引、安くなるといったうまみがないからではないか。

◇有本観光企画係長

- ・にわとりが先かたまごが先かという議論。飛行機の話もそうだが、お客さんが増えればそういうことも当然できるだろうが。
- ・鳥取は魅力的な商品が足りないというのが観光業界の共通認識になりつつある。今の砂丘の魅力だけに頼らず、さらに作りこんでいかに魅力ある商品を作って提供するかということにかかっていると思う。
- ・今、観光協会を中心に様々な案が出つつあるので、近々皆様の目にもふれるようになるかもしれない。

○委員

- ・首都圏では、無料で工場を公開するもの、例えばビール会社で試飲ができたりするバスツアーがよくあり、アウトレットのコースなどと結び付けてある。個人に比べて考えられない安さで参加できるので、たくさんの方が集まる。

○委員

- ・無難な範囲内で提案し実行しようということでは現状を打破できない。観光をメインに

鳥取を立て直そうという気持ちがあるのなら、財政的にも身を切ってもやってもらいたい。

◇有本観光企画係長

- ・竹内市長はマニフェストにも掲げているとおり、一生懸命されており、予算的にはかなりついている。先程お話した支援補助金予算に1000万円ついており、既に今の時点でほぼ半分出てしまった。
- ・このような制度を作るとやる気になる業者もまだ鳥取にあることがこれで分かったので、補正予算を付けてでも取り組みたい。
- ・しゃんしゃんウィークのディズニーパレードに約600万円かけており、少なからず批判もあるが、予算をつけるものにはつけていく姿勢である。

○委員

- ・よいと思う。

○副部長

- ・行政の力もちろん必要だが、市民一人ひとりの自覚、お客様を呼び込み温かく迎え入れること。私たちが市政懇話会委員以外の方にも伝え、ロコミでも、市民も一緒になって立ち上がる気持ちでないと、ただただ行政に対してこれをしたか、していないかというのはちょっと。きちんと受け止めてくださっていることに深く感謝したい。

○委員

- ・行政はお金を使うことはないと思う。地域でもっと自由に民間が動けるようにしてやることではないか。

○委員

- ・一つ提案したい。人気のある人、有名人と行く鳥取ツアーとか、大きなイベントを鳥取で開催すると宿泊もするし人が集まる。例えばガールズコレクション。大きなテーマを持って人が集まるようなイベントをやるのがよい。

○副部長

- ・ここで部長が退席される。
- ・時間もまわったため、残念ではあるがこれで閉会とする。ありがとうございました。